

委員会の動き

十二月定例会各常任委員会の審査の概要は、次のとおりです。それぞれの常任委員会で付託案件の精査をいたしました。

総務

▽平成十七年度座間市一般会計補正予算(第六号)・所管事項)
地方特例交付金を当初七億二千二百万円見込んでいたが、三千四百四十四万二千円の減額になっている。そのうち二千七百万円は国の調整によるものとのことだが、本市の財政力、人口その他を見て調整されたものなのかとの質疑に、調整額の二千七百万円は、国で年度当初全体額が示されますので、その額をもって各市町村の積み上げがされ、算定額の差で調整されます。今回は、二千七百万円のマイナスですが、各市町村の積み上げ額が、国の示した金額を上回ってしまったことによるものとの答弁がありました。

教育福祉

▽平成十七年度座間市一般会計補正予算(第六号)・所管事項)
介護保険地域包括支援センター運営協議会経費について、三月までのタイムスケジュールをどのように組んでいくのかとの質疑に、高齢者保健計画、介護保険事業計画の策定をしていく。十二月下旬に骨格の素案作成を予定して、国から介護報酬が示された時点で計画案の策定にかかる。三月議案に介護保険料一部改正案を提出させていただきます。地域包括支援センターについては、補正予算の議決をいただき次第委員の選任にかかります。第一回目の運営協議会を一月下旬に予定しており、事業者の募集をしたあと、二回目の運営協議会を開催、委託事業者の承認をいただき、四月一日から施行していくとの答弁がありました。

市民経済

▽座間市立集会所条例の一部を改正する条例
現在の使用状況と光熱費はとの質疑に、平成十六年度、年間九十九件、千六百十一人の利用があり、光熱費は、十一万五千三百十五円ですとの答弁がありました。

建設水道

▽平成十七年度座間市一般会計補正予算(所管事項)
目久尻川の横断人道橋設置事業費が減額補正されているが、当初予算編成時に県当局と十分に協議をした上で予算計上すべきではなかったのか。減額となった理由は何かとの質疑に、当初、相模原土木事務所との協議により、直接護岸に橋をつけることで予算計上したが、県庁河川課との協議により、一級河川のため、直接架橋することは河川管理上好ましくないとの結果から、今回は設計のみとし、工事着手を次年度にしたためですとの答弁がありました。

次に、職員退職手当基金繰入金金について、退職者が二十九人となっているが、その内訳はとの質疑に、定年退職者八名、定年前早期退職者十三名、自己都合八名です。定年前早期退職者は勧奨によるものとの答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決しました。
▽議案第80号、第105号、以上二件は全員賛成で原案のとおり可決しました。
▽議案第110号は全員賛成で原案のとおり可決しました。
(一部委員退席)
▽議員提出議案第30号は賛成少数で否決されました。(一部委員退席)

採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決しました。
▽議案第76号、第78号、第81号、第92号、第94号、第106号、第107号、第109号以上八件は全員賛成で原案のとおり可決しました。
▽議案第82号、第83号、第86号、第90号、第91号、第93号、第105号以上七件は全員賛成で原案のとおり可決しました。
(一部委員退席)
▽陳情第21号、第23号、第24号、第25号、第26号は別項参照



第1回「ざま再発見写真コンテスト」議長賞 「夜の座間跨線橋」佐藤康子さん

11月臨時会・12月定例会の審議結果

○賛成●反対△出席

Table with columns for meeting type (11月臨時会, 12月定例会), item name, decision result, and party support (共産, 市政, 明政, 公明, 政和, 市民, 無会).

Table with columns for item name, decision result, and party support (共産, 市政, 明政, 公明, 政和, 市民, 無会).

共産(日本共産党) 市政(市政クラブ) 明政(自由民主党明政会) 公明(公明党) 政和(政和会) 市民(市民連合) 無会(会派に属さない議員)